



蒼雲館の横に立つゆりの木

3年生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。4月からの新たな生活の様々な場面において、お子様が一層成長され、活躍されることをお祈りいたします。

3学期は1月30日に「源氏螢の会」代表・三浦成人（みうら なりと）さんによる『生きる』と題した人権・同和教育講演会を実施しました90分の講演でしたが、三浦さん自身や周囲の方々の生き方を熱く語っていただきました。2学期終業式におこなった『人権に関する意識調査』では「人権学習を通じて同級生や部員の人権意識は高まりましたか」という質問に対して学年平均が4.2（5段階）と人権学習について肯定的な受け止めが多かったです。また「同和地区差別事象が現存していることを理解していますか」という質問に対して95.9%の3年生が「理解できた・やや理解できた」と回答していました。

高校入学後の人権教育の学びが活かされていると思われます。今年は就職差別や結婚差別について具体的に学習しました。授業で学んだことをより現実として受け止めることができたのではないかと思います。

講演後に3年生が書いた感想の一部を抜粋して、ここに掲載したいと思います。

◇三浦さんが後悔してきた、その思いや新しい時代の自分たちに託してくれたその思いを次の世代に託さないで済むように自分たちが世のなかに発信していきたいと思いました。今までの自分なら喉に詰まっていた思いを、これからははっきりいえる大人になりたいと思いました。これから自分の正義を貫き、立派に胸を張って生きていけるように頑張りたいと思います。今日は三浦さんの講演が聞いて本当によかったです。

◇人権問題に対して深く知ることができるよい機会でした。この経験を話すことには多くの決断があったと思います。今

の社会の現実を理解したうえで次世代にみんなが差別をしないという思いを伝えていきたいです

当日の講演会の様子



◇私は部落差別は今まであまり聞きなじみがない言葉で意味が分かりませんでした。でも実際に体験されたお話を聞いて、こんなにも差別されることが悲しく、苦しいことがよくわかりました。私は特に「生きる」という言葉が心に残り阪神淡路大震災で大学の友人を無くされた悲しい体験を聞いて、私もこれからの人生を大切に生きていきたいと思いました。

◇今日講演を聞いて、私はもっと社会の差別について知るべきだと思いました。差別をしない、させないために私自身が差別にしっかり

向かい合わなければならないと思いました。そして、私たちが現在当たり前を送ることができている生活や受けることができる教育は過去に誰かが勇気を出して行動した結果であるということを知っておかなければならないと思いました。

◇生まれが違うだけで就職や結婚も制限があったり差別を受けている人がいることを改めて思いました。身近に差別が起こった時にどうしたらいいのかをきちんと考えて正しい選択をしていきたいです。これから社会に出て様々な人に出会ったときに自分らしく、自分の過去を隠さずにいきたいと思いました。自分の考え方がより深くなるお話をありがとうございました。

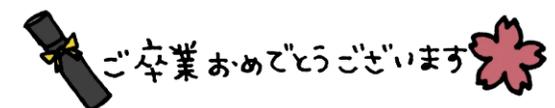
◇今日の講演会を通して、部落差別の実態について初めて詳しく知ることができました。実際に三浦さんのような経験を体験してはいないけど、これから先に多くの人と出会う中でいつ自分が差別に関係するかわからないと思いました。私は人として自分はどうあるべきか思い直して自分らしく生きていきたいし、一人ひとりが自分の生まれについて嘘をつかずに自分にことを言い合える世の中に向かって行きたいなと思いました。

◇人を差別しない、大切にすることで、一人でも多くの人を救うことができることがわかりました。一番大切なことは本当の自分を知っても態度を変えることなく受け止めてくれる人なのだとわかりました。そのために、これから自分らしさを出して生きていこうと思います。

できればすべての感想文をここに掲載したいくらい、どの生徒の感想文も三浦さんの想いをまっすぐに受けとめ、社会のあり方と自分の生き方を見つめ直した素晴らしいものでした。そして、ほぼすべての感想文が「今日は私たちのために貴重なお話をありがとうございました。」という三浦さんに対する感謝の言葉で締めくくられており、三刀屋高校の生徒たちの人柄のすばらしさを改めて実感しました。

これから始まる新生活の中で様々な困難に出会うこともあるかもしれませんが、三刀屋高校で過ごした3年間の出会いと学びがすべての卒業生を支え続けてくれることを、心から願っております。

3年間、本校の人権教育の推進に多大なご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。



ご卒業おめでとうございます